

IV 教育局別の状況

(1) 平均正答率

- 府内各地域の状況を教育局別の平均正答率で示しています。
- 各教育局別の国語、算数・数学の平均正答率は、小学校においては概ね全国平均を上回っていますが、教科毎にみると一部にやや課題が見られます。中学校においては各教科とも全国平均に近い値ですが、一部にやや課題が見られます。

| 小学校 | 国語 | | 算数 | |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| | A「知識」 | B「活用」 | A「知識」 | B「活用」 |
| 全国 | 72.9 | 55.5 | 78.1 | 58.2 |
| 京都府 | 73.3 | 56.9 | 79.9 | 59.7 |
| 乙訓 | 78.0 | 58.0 | 81.1 | 62.3 |
| 山城 | 72.7 | 55.3 | 80.0 | 58.6 |
| 南丹 | 71.0 | 57.0 | 80.0 | 59.2 |
| 中丹 | 73.5 | 59.8 | 80.8 | 61.0 |
| 丹後 | 75.4 | 56.4 | 80.2 | 57.6 |

| 中学校 | 国語 | | 数学 | |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| | A「知識」 | B「活用」 | A「知識」 | B「活用」 |
| 全国 | 79.4 | 51.0 | 67.4 | 59.8 |
| 京都府 | 79.4 | 51.3 | 67.7 | 60.1 |
| 乙訓 | 81.2 | 52.7 | 71.9 | 64.8 |
| 山城 | 77.4 | 49.9 | 67.4 | 59.4 |
| 南丹 | 78.7 | 48.7 | 64.6 | 56.2 |
| 中丹 | 79.5 | 49.9 | 66.7 | 57.3 |
| 丹後 | 79.4 | 52.0 | 67.9 | 59.1 |

(2) 児童生徒の学力状況（正答数分布状況より）

- 次の正答数分布状況グラフは、児童生徒をその正答数によりA層からD層までの4群に分け、それぞれの人数の比率を示したものです。
- 各教科・各年度の平均正答数以上の児童生徒をA層（上位）、B層（下位）、平均正答数未満の児童生徒をC層（上位）、D層（下位）にそれぞれ二分割して分析します。

例えば小学校算数Aの出題数は17問あり、全国の平均正答数が13.3問です。したがって、0～6問がD層、7～13問がC層、14～15問がB層、16～17問がA層となります。